

事業実施の目的 事業実施による教育委員会内の関係部署・関係機関の更なる連携体制の構築と箕面市の子ども小学校への円滑な接続の基となるカリキュラムの作成

1. 主な取組内容について

【架け橋期のカリキュラム開発会議】 フェーズ1

◆令和4年度テーマ「土台作り」

1年目は、関係者間の顔合わせ、各施設における取組や子どもの実態共有、意見交換などの土台作りを中心に実施小学校、就学前施設だけでなく、保護者の意見を聞くことができた

	内容等
第1回	架け橋プログラムの趣旨・目的等、令和4年度の予定、意見交換、助言等
第2回	ワーキンググループ活動報告、意見交換、助言等
第3回	ワーキンググループ活動報告、箕面市支援充実検討会議報告、意見交換、助言等
第4回	ワーキンググループ活動報告、校長より生活科授業の説明、意見交換、助言等
第5回	ワーキンググループ活動報告、令和4年度総括、カリキュラム（素案）様式決定、次年度に向けて、意見交換、助言等

【架け橋期のカリキュラム】 フェーズ2

◆ワーキンググループにおける検討

子どもの姿をとおして語り合い、具体のカリキュラム作成にむけて実際に議論する場として設置した。（計7回実施）

◆内容

施設見学及び施設見学後の意見交換、ドキュメンテーションによる子どもの姿のよみとり、アプローチカリキュラム作成等

◆作成状況

- ①架け橋プログラムの意義の理解
- ②子どもの写真を使用したドキュメンテーションワーク
- ③意見交換
- ④コーディネーター（大阪総合保育大学教授）より助言・指導

①から④を1年間継続的に実施し、「架け橋期カリキュラム（素案）」の作成について検討

事業内容・成果 (R4年度)

## 【園・小学校における体制】 フェーズ 2

- ・モデル地域において保幼小交流担当者の配置、保幼小交流打ち合わせ（年 5 回）

※交流担当者は、ワーキングに参加。

- ・計画に沿った交流以外に、同敷地内における日常的な交流や小学 1 年生と幼稚園・保育所 5 歳児の手紙のやりとりが行われた。また、2 月には、5 歳児へのインタビューをもとに、1 年生が小学校の生活を伝える「5 歳児のわくわくたんけんかい」を行った。

## 【自治体における体制】 フェーズ 2

自治体内の関係部署の連携（開発検討会議及びワーキングへの参加や研修会において連携）

学校教育室（学校教育の所管部署）開発検討会議及びワーキングへの参加

人権施策室（人権教育の所管部署）開発検討会議において支援教育における引き継ぎについて説明

研修の実施：保幼小接続をテーマとした研修会を計 4 回実施

## 2. 主な成果について

- ・形式的な連携に留まることなく、互いの活動を知り、語り合う場が必要であることを確認したことで、就学前施設及び小学校の職員が互いを意識し、日頃から自主的に交流を行った。
- ・職員、保護者は、幼児教育が小学校教育につながっていることをあらためて認識し、それぞれの時期にふさわしい学びや体験が必要であることを知ることができた。
- ・就学前の子どもたちは、小学校をより身近に感じられるようになった。「わくわくたんけんかい」の振り返りでは、小学校生活の具体的なイメージを持ち、自信をつけたことが分かった。

事業内容  
・成果  
(R4 年度)

事業実施地域・  
協力園校  
(R4 年度)

### 【実施地域】

萱野小学校区

### 【協力園校】

市立小学校 1 校  
市立幼稚園 1 園  
(市立小学校同敷地 内)  
市立保育所 1 所  
私立こども園 1 園  
私立保育園 1 園

今後の目標  
(R5 年度)

- ・1年目の取組を継続しながら、互いの教育・幼児教育について理解を深める。
- ・令和 5 年度より、学校教育室（学校の所管部署）も事務局に加わり、取り組みを強化した。市内全域へ波及させるための手法を検討を進める。
- ・前期に「架け橋期カリキュラム（素案）」を完成させ、年度後半に実践・検証を行う。
- ・具体的な手立てや工夫などをカリキュラムの事例集等、別紙作成をすすめる。

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）でのカリキュラム例をもとに作成をすすめている。  
5歳児後半から1年生前半にポイントを絞り、より具体的なカリキュラムの作成をめざす。

R5.5時点

架け橋期カリキュラムイメージ図

共通の視点		アプローチ期		スタート期	
		5歳児 10月～3月		1年生 4月	1年生 5月～9月
期待する子ども像		アプローチ期は、10月～12月までと、特に保護者も子どもも就学を意識する1月～3月に分けて、記載する。		スタート期は入学直後の多くの配慮が記入できるよう4月と5月以降に分けて、記載する。	
遊びや学びのプロセスを意識した活動					
園で展開される活動/小学校の生活科を中心とした各教科等の単元構成等					
指導上の配慮事項	先生の関わり	記載しにくい項目については、随時見直し検討していく。また、必要な項目は追加する。			
	子どもの学びや生活を豊かにする園の環境の構成・小学校の環境づくり				
家庭や地域との連携					
地域での取り組み					
子どもの交流	モデル地域での取り組みを記載するが、市内全域に広げる際には、各地域の取り組みを記載できるようにする。				
教職員の交流					